

女性部活動

～伝統継承、仲間づくり、地域づくり～



女性部おいらせ町支部
クリスマスリースづくり
みんなで趣味を楽しむ
(12/18)



女性部むつ支部
「けいらんづくり」の講習会
地域の伝統料理



女性部十和田湖支部
クラフトテープで小物作り
(12/10)



女性部十和田支部
冬期生き活き講座
生け花教室

地域活動

～地元の農産物販売で、地産地消推進～



女性部七戸支部加工部
年越しそばづくり
しそば5千食を販売。
地元産のソバを原料に年越



十和田やさい館
正月用の餅づくり
会員が生産した「あねこもち」を原料に切り餅、お供え用の餅をつくり販売。

ふれあい活動

～地域と共に～

地域のみなさまとのふれあいの場として、またJA十和田おいらせを感じてもらう場、地域の農畜産物を知ってもらう場として、様々なイベントを開催しています。

2018年、JAイベントの来場者数



開催月日	イベント名	場所	来場者数(人)
4月29日	J A牛肉祭り	本店	900
8月14日	横浜町ふるさとのまつり	横浜町三保野公園	2,350
8月25日	J Aふれあい祭り	七戸支店	500
8月25日	J Aふれあい祭り	十和田湖支店	300
9月 1日	J Aふれあい祭り	上北支店	600
10月20~21日	J A収穫祭	本店	13,000
10月21日	おいらせ町秋の農業祭り	おいらせ町(縄文の森イベントホール)	2,000
11月 3~4日	J Aふれあい祭り(市と共催)	むつ市役所	7,500

農業と地域の

未来のために



特集②



創造的自己改革実践中! シリーズ 4 地域の活性化 (地域貢献)

J A広報誌「あぐれっしゅ」では昨年10月号から12月号にかけ、営農面で取り組む当JAの自己改革を紹介しました。「地域の活性化(地域貢献)」に向けた、組織活動、地域住民との協同活動も毎月実施しています。今月号では11、12月に行った様々な活動を紹介します。

「JAの自己改革に関する組合員アンケート」調査1月中旬より実施!

全国のJAグループで全ての正・准組合員を対象にアンケート調査を行っています。組合員によるJAの自己改革の評価を「見える化」することが目的です。JA職員が訪問した際には趣旨をご理解いただき、調査にご協力をお願いします。

食農教育活動

～次世代に食の大切さ、地域の特産品伝える～

J A、青年部・女性部は、地域農業の発展、食の大切さを広める活動を行っています。



横浜小学校1年生が女性部横浜町支部とジャガイモづくり
かべ新聞が優秀賞に



育てたお米で「餅つき」
JA青年部七戸支部、青年部上北支部
JA青年部では毎年、管内の小学校で米づくりを指導しています。JAでは「JAバンクのアグリ・エコサポート基金」を活用し苗や水田借地料等、全額無償提供するなどの支援をしています。

地域活性 山崎さん全国へ抱負 ～「家の光」記事活用～

青森県家の光大会の記事活用体験発表で、最優秀賞に輝いたJA女性部十和田支部の山崎澄子さんが13日、JA本店を訪れ、竹ヶ原幸光組合長に入賞と全国大会出場を報告しました。山崎さんは「本県代表として、自分の思いを精いっぱい伝えてきたい」と意欲を述べました。

記事活用体験発表には、県内4ブロックの4JAから女性部員4人が出場。山崎さんは「『家の光』から広がる『仲間』と『笑顔』」と題して発表しました。

全国家の光大会は2月に神奈川県で開催。竹ヶ原組合長は「わがJAとしても誇りであり、全国でも実力が發揮できるよう頑張って欲しい」とエールを送りました。



▲竹ヶ原組合長に入賞報告した女性部の山崎さん(写真中央)と竹ヶ原祐子女性部十和田支部長(写真左)

地域活性 歌や温泉など満喫

～JA年金友の会の1泊旅行～

J A年金友の会は11月29日から1泊2日の日程で岩手県花巻市方面を旅し、歌謡ショーや温泉などを満喫しました。

友の会会員48人が参加。1日目は北上市のさくらホールで、紅白出場の経験がある演歌歌手「市川由紀乃コンサート」を楽しみました。宿泊先の花巻温泉「ホテル千秋閣」では、温泉や地元の旬の食材を使った料理を堪能。2日目は農産物直売所「母ちゃんハウスあすこ」で買い物、ヤクルト工場の見学や酒造「あさ開」で酒の試飲を楽しみました。参加会員は「友人も誘って次回も参加したい」と話していました。

次のイベントは2月を予定。多数の参加をお待ちしております。

地域活性 成田さん(藤坂支部)最優秀賞 ～県JA青年大会・主張発表～

J A青年部藤坂支部の成田正大さんが、青森県JA青年大会の「青年の主張発表(12/12開催)」で最優秀賞に輝き12月26日、JA本店を訪れ、入賞と東北・北海道地区大会(1/23)への出場を報告しました。

当JAでは2年連続の最優秀賞受賞になります。成田さんは「農と休日と私」という題で発表し、「最新の農業機械を運用する作業代行組合の立ち上げなどで休みを増やすことが可能になれば、より農業が活性化する」と強調しました。

竹ヶ原幸光組合長は「JAとしても支援する。全国大会めざし、頑張って欲しい」と激励。また手づくり看板コンクールでは、青年部大深内支部が優秀賞、藤坂支部藤坂分会が優良賞に輝きました。



▲竹ヶ原組合長に入賞報告をした成田さん(写真左)と工藤 康広青年部藤坂支部長(写真右)



▲優秀賞の大深内支部の手作り看板



▲優良賞の藤坂支部 藤坂分会の手作り看板



▲岩手の旅を楽しんだ参加会員のみなさん

NEWS & TOPIC 地域の話題

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化(地域貢献)」に向け、JA十和田おいらせは「創造的JA自己改革」の取り組みを実践中です。

地域活性

高齢者安心の地域に

～協定結び見守り連携～

当JAとJAゆうき青森、東北町は12月20日、高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進めるため、「高齢者見守り」に関する協定を締結しました。地域活性化への貢献活動に向け、連携を強化していきます。

協定内容は、地域の高齢者と接した際、異変を発見した場合は、同町に連絡するというもの。JAは今後、営農指導員などによる訪問や、JA職員による外務活動、支店・事業所への来店時などで注視していきます。

所得増大 小笠原治さん(大深内)に栄冠

～肥育牛部会枝肉共励会～

J A肥育牛部会は12月17日、JA本店で枝肉共励会褒章授与式を開きました。最優秀賞には、小笠原治さん出品の去勢牛(父・勝忠平、母の父・安福久、祖母の父・平茂勝)が輝き、最高ランクの格付けA5等級・BMS12でした。

都内の食肉市場で11月30日に枝肉研究会が行われ、十和田市内の畜産農家が育てた平均月齢30ヵ月の黒毛和種24頭(去勢牛15頭・雌牛9頭)の枝肉が出品。1頭当たりの平均価格は前年同月に比べ30円アップの2,505円、A4等級以上の上物率は1割アップの9割近くを占めました。以下の成績は次の通り。

優秀賞…加賀訓、漆畠善次郎

優良賞…小笠原治、畠山廣志、小笠原吉蔵

一敬称略



▲最優秀受賞の小笠原さん



▲協定を締結した鈴木鉱治東北町長と竹ヶ原組合長(写真左)、酒井一由JAゆうき青森組合長

当JAの竹ヶ原幸光組合長は「関係機関との連携を強め、高齢者の方たちが安心して生活できるよう取り組んでいく」と強調。JAは11月、おいらせ町とも同協定を締結。他地域との締結も計画し、地域貢献活動に力を入れていきます。

生産拡大 農家所得増大へ連携強化 ～カルビーポテト(株)が表敬～

当JA横浜町支店管内で生産される契約加工バレイショの取引先、カルビーポテト(株)の中村一浩社長ら3人が12月5日、産地表敬訪問として本店を訪れました。竹ヶ原幸光組合長らに2018年産の実績を報告し、19年産の生産維持、拡大による農家所得増大に向け、連携を強化していくことを確認しました。

同支店管内の契約加工バレイショの年間取扱数量は3,268トン、うち同社との取引は7割を超えます。竹ヶ原組合長は「農家所得増大に向け、同社や生産者と連携し、JAとして種苗費の助成や受託作業の充実を図るなど、生産体制づくりを強化していく」と話しました。

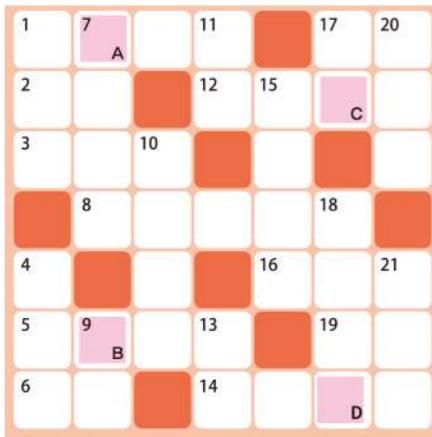


▲カルビーポテト(株)の中村社長と懇談する竹ヶ原組合長(写真右)



- 1等** 「王林」と「ふじ」をおいしい時期に「旬の林檎密閉絞り1箱(195g×30本入)」・3名様
2等 料理のコクが増す調味料、風邪予防と対策に
 「にんにくパウダーポトル(小)40g」+「にんにく魂(ドリンク)50ml×3本」・5名様
3等 大人気! Aコープ商品「鍋焼きうどん 1箱(8食入)」···6名様

二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



出題/ニコリ

頭の体操パズル?当選者発表

先月号のクイズの答え:コママワシ
 応募数/65通

- ニシハマ トシミ ●ヤマザキ サオリ ●ハタヤマ ヤスコ
- イシイ ヨリコ ●ハカラマダ アキラ ●カワグチ ミツル
- オオサカ チエ ●ヌマオ ツトム ●イマブチ ヒロミ
- イシノハチ ヒロコ 一敬称略

健康な体に自信があり今年、日雇いで「ネギ作業」に従事しましたが、10日でリタイヤ! 農家の皆さんにひたすら敬意です(67歳女性、十和田市)。
 (編)丹精込めて生産された農畜産物を感謝して食べたいですね。

体験型婚活「ツナギでつなぐ」で、親睦を深めたイベント、これを機に多くのカップルが誕生することを願います。(67歳男性、おいらせ町)

(編)これから婚活イベントも楽しみにしてください。

J広報誌を通じ、役職員一丸となって、アグレッシブな農協経営が実施されていることを感じ、頼もしく思います(69歳男性、東北町)。

(編)今後も役職員一同、全力で取り組んでいきます。



ご愛読ありがとうございます。

今月もたくさんのお便りを頂きました。

年の漢字「災」のとおり、本当に災害の多い年でした。農業は自然と天候が相手、今後もJAの協同精神が大切です(75歳女性、東北町)。

(編)協同の力が重要ですね。

ピーマンが大好きで、肉巻きバラエティを作りました。おいしかったです(67歳女性、東北町)。

(編)野菜と肉が一緒に摂れて栄養価もバッチリですね!

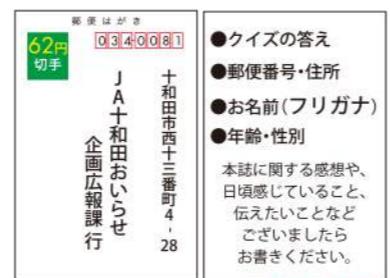
12月号表紙の菅野さんの笑顔がとても素敵でした。農業は大変でしょうが、頑張ってほしいです(63歳女性、おいらせ町)。

(編)頑張っている人の笑顔は素敵です。

今後の農業の行方、6次産業について、高齢者でも出来る農業などを広報誌で取り上げてほしいです(49歳男性、おいらせ町)。

(編)ご要望ありがとうございます。

あぐれっしゅ読者のリアルボイスをお届けします!



[応募方法] ハガキ又はFAXで。
 FAX/0176-24-1829



タテの力ギ

21 20 18 17 15 13 11 10 9 7 4 1



ヨコの力ギ

- 1 雪を積み上げ、中を掘って作る雪室
- 2 マージャンをするとき用みます
- 3 劇場の舞台や花道の地下にあります
- 4 1日に1枚ずつ剥がすカレンダー
- 5 起立!ー!着席!
- 6 バレンタインデー、彼氏や夫へではなく知人や上司へ、感謝の気持ちを込めて贈ります
- 7 足利尊氏が開いた一幕府
- 8 片時もそばを離れません
- 9 漢字で書くと浮塵子。稻の害虫です
- 10 地面につちなどで打ち込みます
- 11 カクテルのベースに使う蒸留酒の一つ

- 12 パソコンのマウスのボタンをカチッと押すこと
- 13 人鐵う佐道わ々木小次郎はとても長い物を使っていたとか
- 14 人数を数えるときには、自分の下に並べます
- 15 10月の下に車で自の下に使う言葉
- 16 11月の下に車で自の下に使う言葉
- 17 12月の下に車で自の下に使う言葉
- 18 1月の下に車で自の下に使う言葉
- 19 2月の下に車で自の下に使う言葉

■「良いJA」考え方披露

～リーダー養成塾～

当JAは12月18日、本店で2018年度JA職員次世代リーダー養成塾の修了発表会を開きました。中堅職員の塾生10人が「私の考える良いJAとは」をテーマに学習の成果を披露。むつ支店営農経済課畜産担当の平山勝利係長が最高位の優良賞に輝きました。

次世代リーダー養成塾は2年目。塾生を前に竹ヶ原組合長は「幹部職員には、人をまとめ、迅速に決断し、実行することが求められる。一層の精進を」と激励しました。

平山係長は「酪農家、肉牛農家を元気にしよう!」という題で発表。最大の課題は後継者不足とし、「労働力不足の対策として、ヘルパー組合の充実を図るなど、互いに問題解決に向けた相談の場を作り、農家を元気にすることが大事。信頼あるJAとして評価され、利用度も高まる」と強調しました。

埼玉県で青森県産米をPR ～生産農家も参加～

JA全農あおもりは12月15~16日、埼玉県で青森県産米の試食販売とPRステージイベントを開きました。当JAからは上北支店管内の米生産者・瀬川務さんと小笠原正英指導員が参加し、県産米の「まっぐら」と「青天の霹靂」「つがるロマン」をPRしました。

当JAを含む、生産農家ら5人が消費宣伝に参加。米卸会社との情報交換会では、消費動向として「現在はコシヒカリ、ひとめぼれ、あきたこまちよりも、価格と食味の面でも青森県産米が支持されている」と報告を受けました。

イベント会場では、試食コーナーや購入者の抽選会なども実施。あおもり米応援キャラクター、生産者も会場を盛り上げました。



▲青森県産米をPRする生産者ら



▲竹ヶ原組合長から優良賞の表彰を受ける平山係長



修了式では、塾生一人一人に修了証書が手渡されました。

広報誌で事業PR

～正・准意識2本立て～

当JAは12月、JA広報誌「あぐれっしゅ」と准組合員向け広報紙「アモぼーる」の2本立てで、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に向けた当JAの取り組みをアピールしました。1月から実施予定の「JA自己改革に関する組合員アンケート」調査でも活用していきます。

JA広報誌では10月号から4カ月連載で、担い手巡回の組合員評価や若手農家の収量アップの成果、1月号でJA収穫祭や青年部・女性部の食農教育などを紹介。アモぼーるでは、若い読者層を意識し、イベントを中心に盛り込みました。組合員の方々との対話のきっかけづくりに活用し、JAの認知度アップを目指します。



▲自己改革の取り組みを伝える「あぐれっしゅ」と「アモぼーる」

information

臨時総代会の開催について

開催日時

2019年1月25日(金)

受付開始:午前10時/開会:午前11時

場所:JA十和田おいらせ 本店3階大ホール

開催理由

十和田やさいセンターに併設するテント施設を2019年3月末までに解体・撤去しなければならないことから、早期工事発注のための総代会承認が必要となったことによる。

理事会だより(第9回:12月21日)

議案

▶臨時総代会の開催並びに提出議案について

▶下北営農センターの設置について

1. 目的 第三次地域農業振興計画の重要実施事項を確立するため、JA十和田おいらせ独自の「営農センター構想」の実現を目指す。なかでも、むつ支店、横浜町支店については経済事業の集約を早期に実施し、経営改善を図りたい。

2. 名称 北部営農センター

3. 対象地区 横浜町支店管内、むつ支店管内

4. 設置時期 2019年4月1日

5. 設置場所 横浜町支店内

▶2018年産 大豆概算金について

概算金単価(60t相当)

1等	2等	3等	特定加工
3,900円	3,660円	3,420円	3,180円

※全農概算金単価と同単価とする。

編集者の日和日記

新たな年を迎ました。平成の元号は今年5月、新元号に替わります。30年の時を刻んできた、平成の称号には「平和で平穡な世であれ」との願いが込められていました。自然災害の多い昨今、新たな時代を迎えようと、変わらず「平和と平穡」を祈り続けたいと思っています。

皆さまにとって幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。そして、本年もJA事業へのご協力とご支援をよろしくお願ひいたします。T



金融部

J A バンク 青森

2019年1月31日(木)

貯めトク定期をご成約された方に
どちらか
プレゼント!!

演文様 x CHORIS
ベジフルバック

kippis x CHORIS
マルチケース

大切なもの
まとめて保管するのに
便利です。

報告事項

▶2017年産 ナガイモ精算および

2018年産 ナガイモ入庫状況について

1. 2017年産 ナガイモ精算

	合計	前年対比
製品出荷数量(ケース/10kg)	533,823	119.6%
製品・平均単価(円)	3,016	71.3%
販売金額計(円)	1,757,186,982	81.7%

2. 2018年産 ナガイモ入庫状況

	合計
12月17日現在、入庫状況(サンテナ)	132,533
秋掘り計画対比(%)	79.2%

▶2017年産 加工用米の精算について

1.JA出荷分の加工用米の最終精算

1俵当り1,248円の支払いをしました。

対象数量:23,500俵 / 精算金額:2,934万円(税込)

2. 生産者手取額

等級	概算金	精算金	手取総額
全銘柄 1等	8,000円	1,248円	9,248円

※等級格差は1等比較で2等△600円、3等△1,600円

3. 支払日 2018年12月21日

監事會だより(第9回) 理事会終了後、本店2階 常勤監事室・監査課で実施

議案第1号

▶平成30年度上半期定期監査講評について 一ほか

人事異動【准職員】(12月1日付)

新任:総務部 総務課付 杉山 知恵里
(旧任:横浜町支店 金融共済課)

お疲れさまでした

正職員退職 (12月31日付)

石田 吉一 むつ支店 営農経済課主任
馬場 麻美 金融部 信用業務課

指導 やさい部

地域農業を考える講演会 受講は無料

「(仮)健康長寿が支える地域農業」

講師:弘前大学大学院特任教授 中路 重之 氏
なかじ しげゆき

プロフィール:1951年長崎県生まれ。1979年弘前大学医学部卒業。2012年医学研究科長(兼医学部長)。2017年4月弘前大学大学院医学研究科社会医学講座特任教授、現在に至る。青森県がん医療検討委員長、青森県寿命アップ推進会議副委員長を兼任であおり短命県返上に向けて尽力している。2018年7月、草の根的な保健・医療活動に貢献した人に贈られる「若月賞」、同年12月青森県の発展に貢献した人に贈られる「東奥賞」に選ばれる。
※聴講希望者は、事前に事務局又は各支店へお申込みください。お問い合わせ・事務局／指導やさい部 指導課TEL:0176-23-0339

開催日時:2019年2月16日(土)午後2時~
開催場所:JA十和田おいらせ 本店3階大ホール
(十和田市西十三番町4-28)

JAグループの子会社は、JAが100%出資し、専門的事業を行っています。
JA十和田地域広域斎苑指定管理

◎2019年 各種教室のご案内

ハーバリウム製作教室 今話題のハーバリウム作って見ませんか!

1月25日(金)17:30~ 材料代 2,000円

手作りキャンドル教室

2月6日(水)10:00~ 材料代 200円

フラワーアレンジメント教室

2月11日(月)18:00~ テーマ バレンタイン

2月12日(火)10:30~ 材料代 2,000円

全て定員20名まで。
3日前までにお申込みください。
会場は、すべて協同サービス
「まごころホール駒街道」です。

お申込み、お問い合わせは
協同サービスまで
TEL.0176-21-1500
住所 十和田市西十三番町4-33

(株)エコー・福祉課

主な事業内容 生産資材の卸、燃料事業、農機具・自動車販売・修理
福祉事業、旅行事業 など

(株)エコー・福祉課は12月、デイサービスセンター「きずな」で「クリスマス会」を開き、十和田市内の「さつき幼稚園」の園児が踊りを披露してくれました。施設利用者の方々は、明るく元気な子供たちとふれあい、楽しいひと時を過ごしました。今後も様々なイベントを企画しております。施設見学や無料体験利用など、お気軽にお問い合わせ下さい。

～老後を安心して暮らせる地域づくり～

お問い合わせ (株)エコー 福祉課 TEL.0176-58-6009



米穀 畜産部

12月 県家畜市場子牛販売成績(黒毛和種)/開催日:平成30年12月7日



地 区	販売金額	雌			去勢			(金額:千円)
		上場頭数	高値	平均	上場頭数	高値	平均	
勝早桜 5	8	816	715	5	1,274	1,014		
第1花国	3	813	794	8	1,365	1,024		
美津照重	4	858	705	6	893	822		
幸紀雄	2	1,516	1,144	4	1,152	987		
諒太郎	3	974	792	3	1,056	869		
計	20	-		26	-			

1種雄牛上場 上位5頭を記載/JA取り扱い分

※5種混合ワクチン及び、キャトルワイン5HSの接種が上場条件。

2月市場開催日/2019年2月8日(金)

information

青森県全体については青森県畜産データ参照(あっせん会上場牛を含む)
※販売金額は税抜価格。